



ブロック別支部長会の開催

今年度ブロック別支部長会は、わが大谷婦人会が、委員会制度となり又真宗大谷派の所属団体となって早六年目を迎えた中での開催となりました。

いよいよ聞法事業の充実と事業内容の検証といった、実に支部長様方の積極的な参加型の研修内容にすべく大いに議論された事です。

一口に聞法会と申しまして、参加される方あつての聞法事業でありますし、また、お声がけいただく支部長様のご努力あつて聞法の間が開かれる事です。改めてそのご尽力に感謝申し上げます。

ブロック別と申しますのは、北陸南部・北陸北部・東日本・東海・西日本と5ブロックに分かれております。それぞれ集まりやすい教区の教務所、ご別院又ご寺院を会処として開催いたしました。お忙しい中、大勢の支部長様方にご参加いただきました。

先ず、年度始めに委員会で議決された今年度の活動概要と事業計画、予算、また特別事業について、そして今年が委員会の最終年度であり来年四月に開催する全国大会を今期の集大成として実施する事など具

北陸南部	2017年8月24日(金沢真宗会館)
北陸北部	2017年8月25日(能登教務所)
東日本	2017年9月13日(妙圓寺 岩手県花巻市)
東海	2017年10月12日(岐阜教区同朋会館)
西日本	2017年10月13日(難波別院)

体的にご報告をさせていただきました。

参加された支部長様方からは、各寺のご住職・坊守様にご理解とご支援を頂きたい。坊守会とコラボレーション出来る事業は無いのか。少子高齢化と言われる時代に会員の増強について支部ごとの現状の悩み。宗教離れ、いや寺離れという厳しい時代に、『ナンマンダブ』をどのようにして大切な人に相続していただくか。など多くのご意見をお聴かせいただきました。

地区の聞法会への参加要望として、バス代の高騰により支部ごとの大型バス利用が困難である、出来れば大谷婦人会で乗り合いバスをまわしていただけないか。支部巡回において保育室の設置があり大いに活用したい。これからは、介護支援等も視野に入れて計画していかなければならないのでは。初めて支部巡回を受けたが、近隣の支部同士で合同開催が出来ないか。など具体的な事例を挙げて協議出来た事は、これからの大谷婦人会の活動に、活気ある事業展開が期待されている事を深く感じた事でした。

大谷婦人会委員長 宮本 春美





第70回東海・近畿地区聞法会 2017年9月5日～7日 開催

於・愛知県西浦温泉「銀波荘」 講師 岐阜教区廣専寺住職 近藤 龍磨 師

今回わたしたち稲葉組支部は37人で参加しました。以前の役員方からは、「10年くらい前まではバス2台分の参加者があり、夜の懇親会のための衣装まで持参された」と聞いております。あらためて先輩諸姉方のパワー、熱心さに頭が下がる思いです。

銀波荘の会場ホールに入って驚いたのは、ご本尊の前に楽器やスピーカーが用意されていたことです。講師の近藤龍磨師は、1日目はギター演奏や弾き語り、2日目はパソコンからの映像を映し出し、『親鸞聖人御絵伝』の絵解をされました。まさに、講題であった「ライブイン浄土の真宗～縁とおとし」でした。

キーボードのアシストの方を加えた演奏は圧巻で、時には感動し、お念仏の伝え方にもいろいろあるのだなと感心させられました。また絵解ではユーモアを交えたお話に、時間の経つのが早く感じられました。お連れした会員方は、口をそろえて「今回の聞法会は、分かりやすくて楽しかったね」という感想でした。

貸切バスを出したからには、聞法以外の楽しみも必要です。行きは、まるで大型レジャーパークのような高速サービスエリア「刈谷ハイウェイオアシス」に立ち寄り、帰りは、あいち健康の森公園内にある「げんぎの郷」に行き、おみやげを買ったり軽食等を楽しんだり…。参加できたことに感謝の気持ちでいっぱいになり、お念仏の喜びの薫りを感じながら家路につきました。 南無阿彌陀仏

初日はライブ、2日目は絵解き法話、こんなご法話もあるのね。



夜の宴会も楽しみの1つですね。



2017年度全国支部長・役員研修会 2017年10月2日～3日 開催

於・真宗教化センター「大谷ホール」 講師 大谷専修学院長 狐野 秀存 師

真宗教化センターにおけるこの研修会への参加は二回目でした。その度に思うのですが、色々な方と出会い、お話しできてとても有難く思っています。

私事ですが、夫を亡くして七回忌が過ぎました。三回忌ぐらいまでは「主人ならどうしたかな？ 生きていたら喜ぶかな？」など生活の中で、必死に思いながら過ごしてきました。悲しみは月日が癒してくれると良く耳にしたのですが、だんだんと善意の言葉も針のように胸に刺さり、感謝の心が全くなくなってしまっていたのです。

今回の狐野秀存先生の法話を聴かせて頂き、目から鱗、私の心から鱗が一枚剥がれる思いがしました。とりまく状況から心がつぶれそうになった時、自分に物差しがありました。尺度の持ち方によっては、それが仏縁になることを知らされたのです。『みち子の遺言』という冊子を紹介くださり、その中の「私が死んでも泣くまっしゃいな」のくだりは涙が止まりませんでした。亡き夫も私に浄土からはたらいてくれているのだなあと実感しました。

今後また一枚鱗が剥がれるような「聞法一路」の行事に参加したいです。



親鸞聖人は比叡山で修行されたんですね。



2017年度委員協議会 2017年12月14日 開催

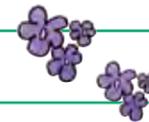
於・真宗教化センター「大谷ホール」他

会員の代表として選出された委員が一同に集って協議を行う委員協議会を開催し、委員(27名中)20名と監事2名が出席されました。

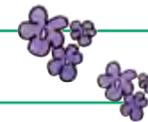
宮本委員長より次の4点について提言があり、その後の班別座談並びに全体協議会で意見が交わされ、婦人会としての方針の確認がなされました。

- ①地区聞法会におけるバス代金の助成について
- ②委員改選について
- ③2017年度すみれ会について
- ④2017年度全国大会について

以上4点の提言を受けて3班に分かれて意見を出し合い、その後全体協議として意見を集約しました。特に①についてはバス代金の助成、④については交通費の助成がなされることから「一人でも多くの人に、ナンマダブの教えに出遇っていただくためにも、このような助成をいただけることはありがたい。積極的に参加を呼びかけていこう」との声が挙がりました。



ご案内



◆ 2017年度すみれ会 開催

【日 時】2018年3月6日(火)10:00～15:00 【会 場】真宗教化センター「大谷ホール」他
【講 師】真城 義磨 師(真宗大谷学園専務理事) 【講 題】「元気の出る聞法」 【冥加金】2,000円

昨今の社会状況はめまぐるしく変化し、IT産業をはじめとする科学技術の急速な発展など、意識する事なく多くの人々はその潮流に巻き込まれております。

自己自身を『見つめる時』を失い、本当に尊いことを『聞く場』を失ってしまった感が致します。

今こそ立ち止まり多様化した価値観の中で、大谷婦人会では、一人ひとりが使命の高さを信じ祖父母が培ってきた宗風を、そして『ナンマダブ』のみ教えを次世代に届けることを願い「すみれ会」を開催いたします。



◆ 2017年度全国大会 物故会員追弔法要・春季永代経法要

【日 時】2018年4月24日(火)13:00～16:00 【会 場】真宗教化センター「大谷ホール」
【講 師】延塚 知道 師(大谷大学特任教授) 【講 題】「無量寿に生きよう」 【冥加金】2,000円

全国大会は、「聞法一路」のスローガンのもと、全国から会員が一同に集い、共に聞法する場を開きつつ、共に新しい会員の誕生を歓迎しつつ、一回一回の大会を丁寧に開催して参りました。毎年秋に開催しておりました全国大会を春に移し、今期委員としての集大成となる大会を目指しております。

夕の交流会も、楽しい企画を考えておりますので、暖かな春爛漫の京都へぜひお越しください。



◆ 第71回北陸地区聞法会 開催のお知らせ

前期 【期 間】第1組 5月15日(火)～16日(水)、第2組 5月16日(水)～17日(木)
【会 場】石川県山代温泉「瑠璃光」 【講 師】北海道教区法誓寺住職・黒萩 昌 師

後期 【期 間】第3組 6月12日(火)～13日(水)、第4組 6月13日(水)～14日(木)
【会 場】石川県志賀町「能登ロイヤルホテル」 【講 師】日豊教区徳蓮寺前住職・伊藤 元 師

お問い合わせは、大谷婦人会事務局まで!





一部130円
(税込・送料別)



編集員

『やさしい法話シリーズNo.19』

きごしたつる われいちにん もんじょうじゆ
木越 樹 述 『我一人がためなりけり ~ 聞成就の仏道』



毎年ご好評をいただいております大谷婦人会の『やさしい法話シリーズ』が今年も完成いたしました。

今回は、2016年度大谷婦人会全国大会(2016年11月に真宗教化センターしんらん交流館にて開催)においてお話いただいた、元宗務総長木越樹師のご法話を加筆修正いただきました。

私たちの生活の中で大切な「聞く」ということが出来ず、当たり前になっていた自分に初めて気付かされたとき、改めてその相手と向き合うことが出来た。このお話を読んで、私もその一人であることを感じました。わかりやすく、丁寧に書かれていますので、ぜひ一度お読みください。

目次

1. 先頭に立っての聞法
2. 「聞く」ことが身につく
3. 「聞く」ことの難しさ
4. 私自身を照らしてくださる教えに出遇^{であ}
5. 他人のことはわからない
6. 覚^{さと}った、わかったと思ったら墮落である
7. 一生を貫いて聞の座に立つ
8. 聞の座に立てば、教えは聞こえてくる



ずっと続いている、
歴史ある聞法誌です!



私たちの宗旨

- 【宗旨】浄土真宗
- 【本尊】阿弥陀如来
- 【正依の經典】
 - 仏説無量寿經(大經)
 - 仏説觀無量壽經(觀經)
 - 仏説阿彌陀經(小經)
- 【宗祖】親鸞聖人
- 【宗祖の主著】
 - 顕浄土真実教行証文類
 - (教行信証)
- 【宗派名】真宗大谷派
- 【本山】真宗本廟(東本願寺)
- 【所在地】
 - 京都市下京区烏丸通七条上る常葉町七五四番地

編集後記

(伊勢順子副委員長)

ご本山、全国各地での報恩講。「聞法一路」の大谷婦人会員の皆様もお手伝いをし、参詣されていることでしょう。

このたびのご縁は、初事と思うべし
このたびのご縁は、我一人のためと思うべし
このたびのご縁は、今生最後と思うべし
聴聞の心得にハッとさせられた私です。

なんまんだぶつ